

1. 格付結果

企業名	株式会社 P F U
格付の種別	情報セキュリティ格付
格付 ID コード	10000140111C1102、10000140213C1102
格付スコープ	(株) P F U 全社対象 ソリューション及びサービス事業に係る情報セキュリティ格付 プロダクトビジネスに係る情報セキュリティ格付
格付対象	1. ソリューション及びサービス事業部門 ・ソリューション&ソフトウェアグループ (6 統括部、12 事業部) ・カスタマ&テクノロジー・サービスグループ (1 統括部、4 事業部、22 部) 2. プロダクトビジネス事業部門 ・P r o D e S グループ (1 統括部、3 事業部、13 部) ・イメージビジネスグループ (2 統括部、1 事業部、12 部)
想定リスク	情報漏えい
格付符号	A ⁺ is (シングルAプラス)
格付の方向性	ポジティブ
有効期限	2011年11月19日から2012年11月18日まで (交付日から1年間)

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2011 ISRating All rights reserved.

2. 当該格付符号とした事由（ソリューション及びサービス事業）

株式会社PFUは「技術と信頼のPFU」をスローガンに、優れた商品（Product）と確かなものづくり（Factory）を通じてお客様の利便性（Utility）に寄与することを目標とする富士通グループの企業であり、イメージビジネス事業・ProDeS事業（開発製造サービス）・ソリューション&ソフトウェア事業に加えて、カスタマ&テクノロジーサービス事業の4つの事業を展開している。特に、中・低速機のイメージスキャナの生産においては世界トップシェアを誇っている。

情報セキュリティへの取り組みは、2001年にPマークを取得、ISMSは2004年12月にIDCセンター、2006年6月にはカスタマサポート事業部が取得している。また2009年ならびに2010年には、これらサービス部門を含むソリューションおよびサービス事業の情報セキュリティ格付を取得し、本年度は3年目の更新審査を実施した。

マネジメント成熟度の観点から見れば、全社的に富士通グループの統制に加えてPFUの統制が機能し、管理体制、情報セキュリティ規程類の整備、人的セキュリティ、ネットワーク管理、ウイルス・不正プログラムの管理等では前年度審査に引き続き全社的に統制された管理が進められている。また本年度の審査では、情報管理ルールの定期的な見直し、セキュリティチェック項目の充実、情報漏洩時のエスカレーション手続きおよび罰則規定の強化などの改善が確認され、PDCAサイクルが有効に機能していると評価できる。

セキュリティ対策強度の観点から見れば、ウイルス対策やパスワード設定などクライアントPCの管理では、体系的な制御が実施され、本審査で調査した端末全てがルール通りの設定となっていることを確認した。部門間で管理レベルが異なるものの、一部サービス部門では、徹底した情報機器・紙媒体の紛失対策が施されていること、また自社の検疫ネットワーク製品ならびに外部記憶媒体への記録制限強化策を順次全社に導入しており、更なる対策強化が講じられている。

総じて、格付スコープ内の部署間で管理策強度の差異はあるものの、マネジメント成熟度では検証したプロセスを用いて目標を指標化したうえで管理・実行されており、管理策強度では、悪意のある外部者に対する管理策が十分に講じられていること、また悪意ある内部者に対する管理策を部分的に織り込んでいると評価できる。

3. 当該格付符号とした事由（プロダクトビジネス）

株式会社PFUは「技術と信頼のPFU」をスローガンに、優れた商品（Product）と確かなものづくり（Factory）を通じてお客様の利便性（Utility）に寄与することを目標とする富士通グループの企業であり、イメージビジネス事業・P r o D e S事業（開発製造サービス）・ソリューション&ソフトウェア事業に加えて、カスタマ&テクノロジーサービス事業の4つの事業を展開している。特に、中・低速機のイメージスキャナの生産においては世界トップシェアを誇っている。

情報セキュリティへの取り組みは、2001年にPマークを取得、ISMSは2004年12月にIDCセンター、2006年6月にはカスタマサポート事業部が取得している。また2009年ならびに2010年には、モノづくりの中心となる「プロダクトビジネス」を格付スコープに、情報セキュリティ格付を取得、本年度は3年目の更新審査を実施した。

マネジメント成熟度の観点から見れば、全社的に富士通グループの統制に加えてPFUの統制が機能し、管理体制、情報セキュリティ規程類の整備、人的セキュリティ、ネットワーク管理、ウイルス・不正プログラムの管理等では前年度審査に引き続き全社的に統制された管理が進められている。また本年度の審査では、情報管理ルールの定期的な見直し、セキュリティチェックの内容拡充、情報漏洩時のエスカレーション手続きおよび罰則規定の強化などの改善が確認され、PDCAサイクルが有効に機能していると評価できる。

セキュリティ対策強度の観点から見れば、ウイルス対策やパスワード設定などクライアントPCの管理では、システム的な制御が実施され、本審査で調査した端末全てがルール通りの設定となっていることを確認した。また禁止ソフトウェアのインストール状況の把握や従業員のアカウント管理強化など、更なる対策強化が講じられている。

総じて、格付スコープ内の部署間で管理策強度の差異はあるものの、マネジメント成熟度では検証したプロセスを用いて目標を指標化したうえで管理・実行されており、管理策強度では、悪意のある外部者に対する管理策が十分に講じられているレベルにあると評価できる。

以上